

## 石川県立田鶴浜高等学校のホームページへようこそ

石川県立田鶴浜高等学校のホームページをご観くださり、心より御礼申し上げます。

本校は、石川県内唯一の医療・福祉系学科を有する専門高校です。看護師・介護福祉士の国家資格を最短で取得できる卓越したカリキュラムを備え、昨年度の国家試験においても両科ともに「全員受験・全員合格」という極めて高い実績を収めました。新たに、希望に燃える新入生を迎え、私たち教職員一同は「チーム田鶴浜」として、生徒一人一人の志を支える歩みを力強く踏み出しております。



本校は昭和42年、衛生看護科と家政科を有する「県立田鶴浜女子高等学校」として産声を上げました。平成6年には家政科を健康福祉科に改編するとともに男女共学化し、現校名である「県立田鶴浜高等学校」として、新たな歩みを始めました。その後、衛生看護科における専攻科の開設や5年一貫教育の導入を経て、本年、創立60周年という大きな節目を迎えております。創立以来、受け継がれてきた校訓「明く・浄く・直く」の精神のもと、私たちは確かな知見と技術、そして看護・福祉の真髄である「慈しみの心」を兼ね備えた専門職の育成に努めてまいりました。

日々の教育活動においては、豊かな人間性を土台としつつ、最先端の学修支援システムを用いたシナリオシミュレーションや、模擬患者（療養者）の協力を得た「統合学習」など、本校独自の高度な演習を展開しております。こうした学びを通じ、鋭い「気づき」や思考力、判断力を養うとともに、校外実習や縦割り班活動を通して、多職種連携の鍵となるコミュニケーション能力や協働する力を磨いております。これらの「確かな技術」と、対象者に寄り添い続ける「誠実に向き合う真摯な姿勢」の定着こそが、本校の教育目標である「地域の医療・福祉に貢献できる有為な人材の育成」そのものであると確信しております。

こうした深い学びが実現できるのは、実習を受け入れてくださる医療機関や福祉施設の皆様の多大なるご理解とご協力の賜物です。コロナ禍や能登半島地震という未曾有の困難の中にあっても、将来の専門職を見据えた愛情あふれるご指導を賜りましたことに、改めて深く感謝申し上げます。「経験に勝るものはなし」という言葉の通り、地域社会という生きた現場での体験を通じ、生徒が看護・福祉の本質を体得できるよう、関係機関との連携を一層強化してまいります。

本校は、日々の研鑽を通して生徒自身が『自己の成長』を実感できる学び舎であり、能登の再生を支える希望の拠点として、ここから広く社会に貢献する志を育てております。静かな赤蔵の森に包まれたこの丘の上から、次代を照らす「命の守り手」を皆様と共に育てなければ幸いです。

今後とも、本校の教育活動への変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

石川県立田鶴浜高等学校  
校長 青木 信幸